

# 令和2年第11回恵那市教育委員会会議録

開催日時 令和2年9月28日(月) 午後1時30分～  
開催場所 恵那市役所 西庁舎4A会議室  
出席委員 教 育 長 大 畑 雅 幸  
教育長職務代理者 鎌 田 基 予 子  
委 員 樋 田 千 史  
委 員 西 尾 修 欣  
委 員 村 松 訓 子

説明のため出席した教育委員会事務局職員等

副教育長 安 藤 一 博  
事務局長 長谷川 幸 洋  
教育総務課長 西 尾 克 子  
教育研究所長 市 川 伸 美  
教育総務課総務係長 古 屋 恵 子

## 議 題

### 報告事項

- 報第 1号 スポーツ推進計画及び行動計画の見直しについて
- 報第 2号 オンラインによるランニング・ウォーキングイベントの実施について
- 報第2-2号 小・中学校の後期の授業について
- 報第 3号 令和2年度教育委員会重点目標の進捗状況について
- 報第 4号 恵那市の園小中学校のトピック(10月)について
- 報第 5号 恵那市中央図書館月別利用状況
- 報第 6号 中山道広重美術館月別観覧者数
- 報第 7号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数
- 報第 8号 その他

開 会 (午後1時30分)

### 1 会議録の承認

令和2年恵那市教育委員会第10回定例会会議録の承認がされました。

### 2 教育長の報告

教育長 まず一つ目に、9月議会の一般質問では7人の議員から質問をいただきました。佐々木議員からは、南地区の中学校の再編について、柘植孝彦議員からは防災・減災教育について、安藤議員からは、コロナ禍における生涯学習活動が中止になったこと、西尾議員からも同様に、この夏休みを授業日にした中でのコロナの対応、熱中症への対応について、遠山議員からは、子育て支援というこ

とで、ブックスタートや保育料について質問がありました。それから、堀光明議員からは、同じくコロナ禍における学校教育に対しての教育委員会の対応、施策について、町野議員からは、ベーシックサービスについて質問を頂きました。ベーシックサービスについては私も初めて聞きましたが、どの人にも無償で対応する考え方をいうそうです。

それから2つ目に、冬休みの期間と、卒業式の期日についてです。

冬休みについて結論から申し上げると、例年どおり12月26日土曜日から1月7日木曜日までです。

当初、始まりの2日間ぐらいを切り上げるという案もありましたが、校長会からの申し入れもあり、この夏休み、随分授業を詰めて、子どもたちも頑張り、職員もよく対応しました。授業時間の確保の見通しがきちんと持てるのであればと確認をしたところ、大丈夫ということでしたので、例年どおりとしました。それから、卒業式は例年であれば、3月5日を予定していましたが、高校受験が昨年からインフルエンザで試験が受けられなかった生徒の対応として、予備日が設けられるようになりました。今回、コロナの関係で、陽性ではなくても、濃厚接触者は2週間待機する必要があるため、入試日を3月9日の予定が3月3日に繰り上げると、県教委から指示がありました。

そのため、3月5日に卒業式を予定していましたが、中学校の卒業式を1週間遅らせ、3月12日金曜日ということで結論を出しました。

大きく3つ目に、コロナ禍での諸行事の修学旅行は、県教委から宿泊を伴わないという指針がありましたので、恵那市も考慮しながら、校長会に小学校、中学校ごとで足並みをそろえてほしいとお願いしました。いずれも日帰り、県内の近いところということで結論が出ました。これについて、一生に1回の思い出なのに子どもがかわいそうということで、再度検討しましたが、宿泊を伴った修学旅行を決めたところは、今のところ、1つもありません。

もう1つ、学校では保護者のご意見を伺いながら計画を立てましたが、宿泊を伴って実施するのであれば、参加させませんという家庭も結構ありました。教育活動として仮に強引に実施しても、クラスで何人も参加しない子どもがいる中で、作文を書かせるにしても、まとめの活動をするにしても、難しいと思います。子どもたちにはかわいそうな気がします、苦渋の選択だと思っています。

運動会についても、グラウンドが狭い学校や、児童生徒数との兼ね合いもあり、市街地の多くの学校は、家族1名または2名と人数制限をさせていただいています。これについても、クレームが来ている学校がありますが、丁寧に説明をして対応しています。

また図書館は、現在、閉館時間を午後6時までと制限していますが、10月1日から、通常どおり午後8時まで、土日は午後6時までとします。ただし、高校生たちが勉強する場所として閲覧室を活用していますが、ガイドラインに基づき、引き続き2時間程度の利用に制限するかを検討しています。

全てに関して、コロナ禍では安全第一と考えています。

以上、大きく3点、報告をさせていただきました。

### 3 教育委員の報告

委員 9月14日、教育長訪問で岩邑小学校に行きました。少人数の算数の授業を見せていただき、聞いていたよりも落ち着いてよかったですと思いました。

先生方も少し控えめな感じがあり、生徒も受け身で、全体的に、おとなしいという印象でした。力を持った先生方がたくさんみえるので、これから期待したいと思います。

中学校で、AI型タブレットのキュービナという教材アプリを使って、数学の授業を2年生が行っています。ゲーム感覚ででき、その子に合った苦手なところを克服できるため、画期的だと思います。使っているとあっという間に時間が過ぎてしまうと、生徒も言っていました。

1人1台タブレットが活用できるようになると、自宅にも持ち帰ることができるようになります。生徒の弱い部分分かるアプリで、継続的に活用すれば、数学に対する興味や関心がかき立てられ、弱い部分が克服できるようになればいいと思っています。ほかの教科でも活用していけば、授業も活気がでてくるので、ぜひ推進してほしいです。

最近感じるのは、相次ぐ有名人の自殺についてです。仕事柄、不登校ぎみの生徒で、かつて摂食障害や自傷行為を繰り返している子もいるため、報道によって、変に触発されないといいなと思っています。自殺が取りざたされて、死も選択肢にあると思ってしまうと困ると思います。何があっても、命は大切にしなければいけないという教育、自分の命を守る教育など、何かあったときにそういう気持ちを支える体制をつくっていかなければいけないということが一番強く感じました。

委員 運動会、体育祭を参観しました。ことしは特別な状況の中での運動会で、まず印象を受けたことは、それぞれの学校でいろいろな工夫をして実施していたことです。ある学校では、来場者の受付表を首からぶら下げて受付を行っていたり、子どもたちの種目も、これまでになかったような種目を見せてくれたりしました。先生方も新しいことに取り組み、何かとご苦労があったと思いますが、子どもたちがよくこたえてくれたと思っています。

そのほかに、議会のことです。新聞に恵那南地区の中学校再編について、再度答申をとという意味にとれる記事がありました。

実際に答申が予定されているのか、定例会では聞いたことがなかったため、果たしてどうですか。その新聞記事を読まれた方から本当かと問い合わせがありました。市民の方より情報が入ることが遅い場合があります。これは過去にも、この場で何度もお願いをしていますが、事前報告の連絡手段がとれないかと思えます。

過去には、記者会見を行い、明日新聞にこういう記事が載りますという連絡を直接、教育長さんから頂いたこともあります。そんなに重大事案ではなくても、先に目にしておきたいことが時々出てきますので、事前にたとえアウトライン

だけでも話が分かっていると、それなりの対応ができると思います。繰り返しになりますが、連絡方法を構築してもらいたいです。

教育長 何ら路線は変わっていません。新聞での書きぶりがあのようになってしまいました。

委員 記事だけを見た人は、そう思ってしまいます。そうではありませんと、その場で反論ができないと、後で反論するというのはなかなか難しいので、よろしくお願いします。

委員 今の話だと、統合について市議会も問題にしているということですね。要は4年間、教育委員会だけが一生懸命やっているだけで、市議会は動いてない部分もあったと思います。ただ、局長の話が新聞に載ったことで、市議会議員も意識が変わると思います。

8月26日に恵那西中学校の教育長訪問に行ってきました。授業を見せていただきましたが、気になったことは、マスクのことです。やはりマスクをしていると、子どもとの接触というか、話をするとき、表情が分かりにくい。

副教育長にも話しましたが、フェイスシールドを使ったらいいと思います。マスクをして目だけの表情では、なかなか子どもの表情がつかみにくい。特に日本語の授業を行っていた学級では、先生も一生懸命教えていましたが、子どもがマスクをしているため表情が分かりませんでした。フィリピンの子がいましたが、表情が分からない。言葉と表情はすごく関わりがあります。そこら辺のことも考えて授業ができるといいと思いました。

もう1つは、グループ学習の授業が多かったことです。コロナの対策のためグループ学習は控えていると思っていましたが、今までのグループ学習と同じでした。グループにして子どもたちに任せておけばいいという、学習の仕方にあいまいさ、甘さがあった気がしました。

タブレットを利用した授業があり、大型モニターに子どもたちの様子が映し出されます。どの子がつまづいて、どの子が何を調べているかが分かります。先生はつまづいた子のそばまで行って指導するより、モニターで確認できれば、そばまで行かなくても指導ができます。その辺の活用の指導などを工夫してほしいと思いました。

学校経営に、自己肯定感という言葉が出てきます。一体どうやって先生方は、子どもに伝えているのか。どういう言葉がけをして自己肯定感を育てているのか。言葉が先行しており、中身について具体的な指導を、手立てを打っているのか気になりました。

委員 学校内で、このマスク生活というのは、県の指針、ガイドラインに沿って行われていますか。

教育長 教育活動で、例えば体育の授業など、広い場所で間隔がとれる場合は、マスクを外して実施しても構わない。それから、乳幼児や低学年の児童も、マスクが呼吸器官によくないというデータもあるため、少し緩和されてはきています。

委員 現状では、恵那市内の学校はどこもマスクを着用していますか。  
教育長 こども園ではマスクはしていません。小中学校は基本マスクをしています。

委員 上矢作中学校と恵那北中学校に教育長訪問に行きました。感染者が出てない状況ですが、例えば、ある程度条件を満たしていれば、マスクを外してもいいという通達があったとしても、学校が、いざ、自分の学校だけ踏み切れるかと言ったら、なかなか難しいのではないのでしょうか。真面目に子どもたちが守っていることがいいのかと思うところもあります。現場からはそういった話が出てきませんか。

教育長 こういう判断は、本当に自分が一番手に口火を切るといのは大変難しいため、国や県の指針、ガイドラインの最新のものにある程度よりどこを見つけて、対応しています。それが現状ですが、先ほどの話のように、修学旅行や運動会も、しゃくし定規で行ってはいけないと思います。

委員 そういった大きな行事は、また別だと思いますが、教室に入ったときの様子が、常にマスクを付けている状態ですね。

教育長 今のところ、原則マスクを着用しています。給食も友達とおしゃべりをしながら楽しく食べることはなく、もくもくと黙って食べています。

委員 世の中では、自殺者は間違いなく増えています。DVや、コロナいじめ、ネグレクトなど、なかなか踏み込めないところの問題が起きています。具体的に話があったとき、教育現場では、いじめと同じように対応マニュアルはありますか。

教育長 県が示したマニュアルを参考にしながら対応しています。

委員 具体的に、教育委員会ではどなたが担当ですか。

副教育長 学校教育課で、主な担当は主幹になります。

委員 主幹が対応し、課で情報を共有しているということですか。

副教育長 マニュアルは学校へも示してあります。衛生管理については、県のマニュアルを参考に恵那市独自のマニュアルを作り、それに基づき対応しています。例えば、アルコール消毒は、国や県が示したものがありますが、アルコール過敏症や消毒液が手に入りにくいこともあったため、手洗いを中心に行うなど、細かなところを恵那市の養護教諭が中心となり、全体は国や県のマニュアルを参酌しながら作成しました。

委員 虐待事案や自殺についても主幹が担当ですか。

副教育長 虐待に関しては、生徒指導関係になるため、指導主事が担当になりますが、学校教育課として対応しています。

委員 学校には学校教育課が窓口と示してありますか。

副教育長 学校教育課のそれぞれの担当を示してあります。

委員 わかりました。

#### 4 報告事項

教育長 報告事項第1号 スポーツ推進計画及び行動計画の見直しについて、説明をお願いします。

事務局長 報告事項第1号 スポーツ推進計画及び行動計画の見直しについて、資料に基づき説明。

教育長 ご意見、ご質問はありませんか。

委員 スポーツ推進審議会のメンバーはどういう方がみえますか。

事務局長 審議会のメンバーは、スポーツ推進委員連絡協議会の会長や、中部大学の教授、中部学院大学の専任講師、身体障害者福祉協会恵那支部長、地域自治区会長会議代表、市内スポーツジム、体育連盟会長、小中学校校長会代表、こども園の園長代表と市役所の関係部長の11名です。

教育長 ほか、よろしいですか。

委員 はい。

教育長 報告事項第2号 オンラインによるランニング・ウォーキングイベントの実施について、説明をお願いします。

事務局長 報告事項第2号 オンラインによるランニング・ウォーキングイベントの実施について、資料に基づき説明。

教育長 ご質問、ご意見ありますか。

委員 このチラシの裏面の下に参加自治体プランがあり、岐阜県は恵那市と下呂市だけです。今後増える可能性もあると思いますが、今、教育長から話を聞いていると、もう少し増えてもよさそうな気がします。参加するのに、何か特別、ハードルが高いということはありませんか。

事務局長 ハードルは高くありません。主催者である一般財団法人アールビーズスポーツ財団に、恵那市はクロスカントリーやハーフマラソンで一部協力をお願いすることがあるため、登録はすぐできました。

委員 参加登録は、個人で登録をすることによって、事務局で比較が見られるようにデータを保存していくということですか。

事務局長 そうです。個人で登録すると、歩数のデータが主催者側で蓄積され、更新ごとに順位がでるように見える化をしていると思います。

委員 恵那市がこれに参加するということは、この恵那市で登録した方のデータのみを業者から提供してもらい、クロスカントリーやハーフマラソンなどのイベントに変えるということですか。

事務局長 はい。

教育長 そのほか、よろしいですか。

委員 はい。

教育長 報告事項第2の2 小・中学校の後期の授業について、説明をお願いします。

教育研究所長 報告事項第2の2 小・中学校の後期の授業について、資料に基づき説明。

教育長 ご意見、ご質問はありませんか。

委員 運動会を見させていただき、学校側が距離をとるように子どもたちに指導していることはよく分かりますが、現実問題、子どもたちはくっついてしまいます。特に、走り終わって待っているときなど、ある意味、仕方がないことだと思います。ただ、適当になってしまい、いつの間にか、そのルールがなくなってしまうということはいけませんので、やはりルールはルールとして、何かの機会に、子どもたちにもアピールする必要があると思います。また、これで終息に向かっていけばいいのですが。難しいさじ加減だと思いますが、ガイドライ

ンを守っていってもらいたいと思います。

委員 学校に提示してありますか。

教育研究所長 今申し上げた事業については、まだ提示していません。教育委員会で確認していただいてから学校に伝えます。

委員 恵那市の方針案は、感染状況に応じて判断するのは現場ということですか。

教育研究所長 そうです。

委員 恵那市は、他市から来た校長先生や、幹部がすべて変わってしまった学校が多いと思います。自分の学校だけでは判断できない場合、横のつながりとか、情報共有はできていますか。例えば中学校としてどうするのかなど、校長会でお話はありますか。

教育研究所長 はい。校長先生たちは、個人的に中学校区内で情報交換を行っています。また、校長会でももちろん、小・中学校分かれて研修する中で情報共有に努めてみえます。

委員 ただし、ある程度学校の状況も違うため、現場の判断も大事だと思いますが、恵那市として足並みとか、余り違ったことをしてしまったりは、いけないとは思いますが。判断が非常に難しいのですが、そのあたりの情報共有が、その都度、オンタイムでしていただけるとういことだと思います。

教育長 基本的に、教育課程の編成は校長が責任者です。市内全域の小中学校にかかわってくるときは、足並みがそろってほしい方がいいため、一緒に相談をしていきます。校長会の意見を尊重して、それを支持する、支援する立場で対応しています。教育委員会で決めて示してほしいと言ってくる校長がいますが、教育委員会がトップダウンで指示を出しているからと保護者に対応しても、保護者や地域は納得せず、説明の理由にならないことが多々あります。教育委員会が指導、助言をしながら決めても、それは原則であって、校長は自分の学校の問題として対応しないと、説得力のある説明はできません。

委員 レベル1、2、3というのは、だれが決めるのですか。

教育長 基準は国が示していますが、どこに該当するかは市が決めることになります。

委員 例えば国はステージ4と示しても、恵那市はステージ4ではない場合もありますか。

副教育長 あります。市単位で保健衛生部局と十分な打ち合わせをして、市長が決めることになります。

委員 市長が決定し、教育委員会が学校に伝えるということですか。

副教育長 そうしたいのですが、今のところ、明確なものは出しません。

委員 市で出す人がいないということですか。

事務局長 市にそれだけの知識を持った人間がいません。県または市町村と書いてあるため、県が出してくれれば、市はそれに準じて行うということですが、知事部局も明確な答えは、保健所に聞いても出さないということでした。国が示しましたが、困っている状態です。

委員 恵那市はどうするのですか。

副教育長 レベル1ということにして行います。

事務局長 教育委員会としては、恵那市はレベル1相当のところでは実施していけないかと思っています。最初に、各学校にお願いしたいことは、周辺の状況をよく見ていてくださいということです。感染状況に応じて判断すると書いてあるのは、近くで出た瞬間に、学校独自で判断していただく必要がありますので、周辺の状況もよく見ていただきたいと思います。

委員 周辺とは隣の市ですか。

事務局長 はい。この感染症では、マスクを外して、どれだけ一緒に過ごす濃厚接触になるなど基準があります。感染者が出た際に、マスクしていれば濃厚接触にはならないなど、メリットもあります。コロナ禍ではよい治療薬が開発されない限り、マスクをした生活は続くと思います。

子どもたちにとって、やらなくてはいけないことがあれば、ぜひ学校で行っていただけるよう指針を作っていきます。

委員 今まで配慮してきた学習活動の音楽、家庭科、体育の3教科以外の、理科など実験器具を使った授業は制約がありますか。

副教育長 理科にも制約がありますが、特にこの3教科が先送りされていました。とりあえず後から行うようにして、計画を組み直し、6月から授業がスタートしていました。その先送りしていた授業を、どこから再開すればいいのかという話になってきています。

委員 先ほどの話ではありませんが、きちんと手洗い、うがいをして、きれいにすれば調理実習は行っていいわけですよね。

事務局長 6月から、食べるときと、マスクを取って歌うことがとても危険だということで、後送りになりました。これをどうするかは、各学校で検討してもらうよう、指針を作成しました。

教育長 報告事項第3号 令和2年度教育委員会重点目標の進捗状況について、説明をお願いします。

事務局長、副教育長 報告事項第3号 令和2年度教育委員会重点目標の進捗状況について、資料に基づき説明。

教育長 ご質問はございませんか。

委員 前回の子ども向けの夏休みイベントは好評だったと聞きましたが、数字的にどうでしたか。

事務局長 とても好評でした。スケート場でのイベントで、夏の思い出は9日間で638名、夕涼みは314名と、夏休みが短くても地元でのイベントということで多くの方に参加していただきました。実施して批判的な声は一つもなかったもので、ありがたかったです。

委員 そういった子どものイベントがものすごく減っていますので、こういったイベントがあるといいなと常々思っていました。継続してできるといいと思います。

事務局長 各セクションで重ならないように、イベントは続けていきたいと思っています。

教育長 毎年、開催しているこどもフェスタは中止になりましたが、その代替の催しを11月23日の3連休に、協和ダンボールさんのご支援いただき、巨大ダンボール迷路と、ダンボール工作を、半日ですが大井小学校の体育館で行います。



委員 4ページの10番、集団不適應児童生徒の減少で、子どもの様子の情報共有とは、それぞれが抱えている事案の情報共有ということですか。

副教育長 そうです。

委員 機関によって、事案がそれぞれ違うということですか。

副教育長 発達相談や、不登校など、総合的にいろいろとつながってくることもあるため、情報を共有しています。

委員 5ページの11番、新型コロナウイルス感染症に関する対策で、読み聞かせの実物投影機の整備は、デジタルにはならないのですか。

副教育長 デジタルは費用がかかるため、投影しているだけです。本を見せて読み聞かせをするときに密接しないよう、子どもたちが距離をとった状態で読み聞かせができるようにします。

教育長 そのほかはいかがですか。

委員 なし。

教育長 報告事項第4号 10月の恵那市の園小中学校のトピックについて、説明をお願いします。

副教育長 報告事項第4号 10月の恵那市の園小中学校のトピックについて、資料に基づき説明。

教育長 ご質問はございませんか。

委員 なし。

教育長 報告事項第5号から第7号、各施設の利用状況について、説明をお願いします。

事務局長 報告事項第5号から第7号、各施設の利用状況について、資料に基づき説明。

教育長 報告事項第8号 その他で、10月の行事予定について、説明をお願いします。

事務局長、副教育長 10月の行事予定について、資料に基づき説明。

教育長 ご意見、ご質問はありませんか。

委員 なし。

教育長 資料の最終ページにある8月の後援申請一覧については、ご確認をお願いします。ご意見、ご質問はありませんか。

委員 なし。

教育長 次回教育委員会の日程確認。  
第11回教育委員会定例会を閉会します。  
午後3時05分閉会を宣言します。

令和2年9月28日

教育委員 村松 訓子

教育委員 鎌田 基予子